

静岡市清水区感染症発生動向

2018年 3週 集計期間 1/15-21

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症		1	3	2									1	7	
咽頭結膜熱				1		1			1					3	
溶連菌感染症				1	2			1	1			2		7	
感染性胃腸炎		2	3	4	1	5	6	7	6	3	8	20		65	
水痘		1	1											2	
手足口病															
伝染性紅斑															
突発性発疹			1											1	
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎							1							1	
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ															
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu	1	5	15	20	23	41	44	58	45	64	34	124	10	484	
小児科定点総数 570 増減 208 前週比 157.5% 定点当たり 95 病院:開業医 8:562 増減 +4:+204															
内科Flu										2		1	10	74	87
インフルエンザ総数 571 増減 251 前週比 178.4% 定点当たり 63.4 小児科:内科 484:87 増減 +220:+31															

総数570、前週の157.5%と、大幅増加です。

首位は、インフルエンザ、前週比183%、定点当たり80.6と、大幅増加です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比79.3%、定点当たり10.8と減少です。

3位は、RSウイルス感染症、前週比350%、定点当たり1.2と増加です。

同数で、溶連菌感染症、前週比140%、定点当たり1.2と、流行中です。

以下は、定点当たり1未満で、咽頭結膜熱3名、水痘2名、

流行性耳下腺炎、突発性発疹が1名ずつです。

内科も含むインフルエンザ、前週比178.4%、小児科は6、内科は2定点から報告です。

内科は、A型28名、B型59名、小児科はA型163名、B型252名、不明69名です。

内科は、1:2.1、小児科は、1:1.5程度にB型が優勢です。

小児科定点の484は、ここ10年間で最大で、さすがにここがピークかと思います。

静岡市の衛研から、今シーズンのウイルス分離のFaxが来ましたが、12月に出た、11検体のうち、1検体がBの山形、1検体が不検出で、残り9検体は検査中という事で、全然、参考にならないので、A、checkしましたが、いずれも、pdm09陽性でした。

A型は、2009に罹患していない、8歳程度以下が多いのに納得です。

1/20小児科午後当番は、来院数56名、A6名、B16名、胃腸炎3名でした。